

須影一区・二区

自治会だより

令和7年12月1日 N o. 43

自治会活動に
みんなが参加すれば
地域の安心・安全は
もっともっと良くなる

令和7年9月～令和8年3月の行事

実績：

- 9月 7日(日) 共同墓地等除草剤散布
(シルバー人材センター)
- 9月 13日(日) 八坂神社秋祭り
- 10月 11日(土) 八幡神社秋祭り
- 10月 12日(日) 青島の市 (八幡神社境内)
- 11月 1日～11月30日 自治会費下期分納付
- 11月 9日(日) 防災訓練説明会
- 11月 16日(日) 一区・二区合同防災訓練
(自主防災会役員・班長)

予定：

- 12月 21日(日) 愛宕神社落ち葉清掃
(正副会長・近隣住民)
- 12月 21日(日) 評議員会
- 12月 31日(水) 八幡神社年末祭事

令和8年

- 1月 1日(木) 八幡神社新年祭事

八坂神社秋祭り

八坂神社の秋祭りが開催されました。舞台ではカラオケ・盆踊り、屋台ではかき氷・射的・焼きそば・もつ焼き・ウインナー焼きなど、最後にbingoゲームで楽しみました。



新しく建立した鳥居



みんなで盆踊

市民座談会が10月20日(月)に須影公民館講堂にて開催されました。

市側から河田市長をはじめ栗原総務部長・山本まちづくり部長・新井生涯学習部長・他が、自治会側からは須影9地区の自治会長・他が参加して開催されました。市長からは羽生市政の重点施策について講和がありました。また、事前に自治会側から提出した【砂山地区道路交通事情】【須影運動公園】【空き家、空地の増加】は市側から丁寧なお答えがありました。



生ごみ・可燃物・資源物集積所の年末・年始の利用について

●生ごみ・可燃物集積所 (回収日：火・木・土)

年末：12月27日(土)まで
年始：1月 6日(火)から

●不燃物・資源物集積所 (回収日：日曜日)

(須影共同墓地脇)

年末：12月28日(日)まで
年始：1月 4日(日)から

(注) 4日は第1日曜日のため不燃物のみ

11月16日（日）令和7年度防災訓練 (白いハンカチ運動) 実施

11月16日（日）午前7時45分に震度6弱の大地震が発生したと想定しての防災訓練です。災害はいつ・どこで起きるか分かりません。日頃からの防災の準備をしておきましょう。

- ① 安否確認（白いハンカチ運動）、②避難誘導、
③情報収集、④初期消火、⑤救出・救護、⑥給食・給水の各訓練が楽しくかつ真剣に行われました。



① 安否確認
我が家は無事である合図として白いタオル等を玄関やポストに表示する訓練です。



② 避難誘導
班内の安否確認後、班長さんは須影グランド：バックネット前に集合し、公民館前への移動です。



③ 情報収集
班長さんが安否確認の結果を公民館前に待機している情報収集班に報告する訓練です。



④ 初期消火・煙体験
公民館前の駐車場にて消防：第6分団の指導で消火器の使い方を訓練しました。



⑤ 救出・介護
公民館和室にて羽生消防署の方の指導で心肺停止した方への対応方法を訓練しました。



⑥ 給食・給水
非常食（アルファア米）の炊き出し訓練後、参加者の皆さんに試食いただきました。

防災訓練の結果：

班長参加率	96.7%
会員（白いハンカチ表示率）	57.6%

ご協力、ありがとうございました。



八幡神社からのお知らせ

◎ 「秋祭り」と「青縞の市」

10月11日(土)自治会員ならびに地区役員の皆様に御臨席いただき「秋祭り祈願祭」を執り行い、収穫の感謝と翌年の豊作を祈願致しました。

10月12日(日)には「秋祭り」と「青縞の市」の合同開催を実施致しました。

恒例の「竹灯籠づくり」「ミニ注連縄づくり」また「御朱印」「おみくじ」も大盛況でした。



「竹灯籠づくり」
小中学生からご年配の方々まで、大勢参加して頂きました。

また、地場産業である【藍染】を基本として「ワークショップ・キッチンカー・飲食ブース・物販」そして「ステージショー」等、大きな盛り上りを見せました。

皆様のご協力、心より感謝申し上げます。



【ステージショー】羽生須影剣道会

◎年末年始のご案内

① 大注連縄づくり 12月14日(日) 8:30~12:00
大注連縄づくりの技術を引継ぐ有志の方を中心に行ないます。

② 「竹灯籠」「ミニ注連縄」づくり 12月14日(日) 13:00~15:00

③ お焚き上げ 12月31日(水) 10:00~12:00

古いお札等、八幡神社境内でお焚き上げを行います。

④ 「お札お渡し」「御朱印」「おみくじ」について 1月1日(水) 9:00~12:00

※詳しくは、別紙「回覧」にてご確認下さい。



次号は令和8年3月1日発行の予定です

先の10月に「国勢調査」が行われました。

編集人も調査員のひとりでした。ご協力ありがとうございました。（編集人：蛭間春男）